

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	岩手大学
設置者名	国立大学法人岩手大学

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計		
人文社会科学部	人間文化課程 地域政策課程	夜・通信	8		10	18	13	
教育学部	学校教育教員養成課程	夜・通信			8	16	13	
理工学部	理工学科	夜・通信			7	15	13	
	化学・生命理工学科 物理・材料理工学科 システム創成工学科							
農学部	食料農学科 生命科学科 地域環境科学科 動物科学・水産科学科	夜・通信			8	16	13	
	植物生命科学科 応用生物科学科 森林科学科 食料生産環境学科 動物科学科							
獣医学部	共同獣医学科	夜・通信			16	24	19	
農学部								
(備考) 令和7年度より、理工学部及び農学部は学部を改組し旧学科(下段)は学生募集を停止、農学部共同獣医学科は学生募集を停止して新たに獣医学部共同獣医学科として新設(上段)。本表科目のうち、旧学部学科が2年次以上に担当する科目は、新課程でも同一の内容で開講見込みのもの。								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

岩手大学ホームページ

<https://www.iwate-u.ac.jp/about/disclosure/study-support.html>

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名

(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	岩手大学
設置者名	国立大学法人岩手大学

1. 理事（役員）名簿の公表方法

岩手大学ホームページ https://www.iwate-u.ac.jp/about/disclosure/study-support.html

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	株式会社NTT ドコモ 相談役	2024. 4. 1 ~ 2026. 3. 31	経営戦略・DX 推進 担当
非常勤	共益商事株式会社 代表取締役 顧問	2024. 4. 1 ~ 2026. 3. 31	経営企画担当
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	岩手大学
設置者名	国立大学法人岩手大学

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開講予定の各科目について、前年度3月に「授業の目的」「到達目標」「授業の概要(「授業の内容」に該当)」、「授業の形式(「授業の方法」に該当)」、「成績評価の方法と基準(「成績評価の方法・基準」に該当)」、「詳細計画」等の項目からなる授業計画書(シラバス)を作成し、Web上で公表している。 ・「シラバス作成の手引き」を授業担当者に配付し、授業計画書(シラバス)作成の一助としている。 ・開講科目のシラバス点検を行い、不備がある場合には個別修正依頼をしている。 	
<p>授業計画書の公表方法</p>	<p>https://sy2.iwate-u.ac.jp/websyllabus/kensaku/slbsCtlSyllabusKensaku.php?new=1</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単位認定に伴う成績評価については、「成績評価ガイドライン」を策定し、これに基づき各科目の成績評価基準や評価方法をシラバスにて明示し、実施している。 	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・GPAを指標として設定し、算出方法について「履修の手引き」等を通じて教員及び学生に明示している。 ・算出されたGPAは、システム(アイフォリオ)により各学生の成績通知の画面に明示されている。 ・各科目の成績評価比率は、全学会議(岩手大学教務委員会)を通して全教員が共有している。 ・GPAを用いて個別指導対象学生を選定するなどの取組を行っている学部、コースもある。 <p>【GPA算出方式】</p> <p>GPA= $\frac{\text{「秀」単位数} \times 4 + \text{「優」単位数} \times 3 + \text{「良」単位数} \times 2 + \text{「可」単位数} \times 1 + \text{「不可」単位数} \times 0}{\text{「秀」単位数} + \text{「優」単位数} + \text{「良」単位数} + \text{「可」単位数} + \text{「不可」単位数}}$ ① ※①は履修単位数×成績評価によるポイントの合計、②は履修単位数</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>「履修の手引き」(入学年度ごとに作成)を本学HPで公表 2025年度入学者用は、下記にアクセスしI-15ページの頻出用語を参照 https://www.iwate-u.ac.jp/campus/course/guide.html</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学位授与の方針を定め、公表している。 ・学位授与の方針の達成状況について、入学直後における自己認識に係る調査、学期ごとの達成度自己評価の調査及び修得単位の確認指導を行っている。 	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p>https://www.iwate-u.ac.jp/about/policy/diploma.html</p>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	岩手大学
設置者名	国立大学法人岩手大学

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.iwate-u.ac.jp/about/finance/statement.html
収支計算書又は損益計算書	https://www.iwate-u.ac.jp/about/finance/statement.html
財産目録	非公表
事業報告書	https://www.iwate-u.ac.jp/about/finance/statement.html
監事による監査報告(書)	https://www.iwate-u.ac.jp/about/finance/statement.html

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	
中長期計画(名称: 国立大学法人岩手大学第4期中期目標・中期計画 対象年度: 令和4~9年度)	
公表方法: https://www.iwate-u.ac.jp/about/evaluation/info.html	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: https://www.iwate-u.ac.jp/about/evaluation/self-inspection.html

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: https://www.iwate-u.ac.jp/about/evaluation/certification.html

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業又は修了の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 人文社会科学部
教育研究上の目的（公表方法： https://www.iwate-u.ac.jp/about/disclosure/education.html ） （概要） 「総合化と専門深化」の教育理念に基づき、現代社会の諸問題を総合的観点から理解する能力と人間・文化・社会・環境に関する専門的知識・能力を有し、地域社会及び国際社会に実践を通して貢献できる人材の養成を目的とする。
卒業又は修了の認定に関する方針（公表方法： https://www.iwate-u.ac.jp/about/policy/diploma.html ） （概要） 各課程のプログラム毎に、（知識・理解）、（思考・判断）、（技能・表現）、（関心・意欲・態度）の 4 項目の能力について定め、修得した者に学位を授与している。
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法： https://www.iwate-u.ac.jp/about/policy/curriculum.html ） （概要） 教養教育で得た多様な学問領域の基礎的知識および基本的思考力、幅広く深い教養と総合的な判断力等を踏まえ、学位授与の方針に基づき、専門教育科目を「学部共通科目」、「課程科目」、「専修プログラム科目」の 3 つのカテゴリーに分け、体系的な教育課程を編成している。
入学者の受入れに関する方針（公表方法： https://www.iwate-u.ac.jp/admission/general/policy.html ） （概要） ・人間・文化・社会・環境に関する基礎的知識・技能を有し、物事を論理的に考えることができる人 ・多様な考え方、異質なものの見方を理解しようとする柔軟な姿勢を持ち、物事を多角的に捉えるとともに、自分の考えを適切に表現し、それを積極的に発信できる人 ・人間・文化・社会・環境のあり方とそれらをめぐる諸問題について強い探究心と広い観点から学ぶ意欲を持つ人 ・地域社会・国際社会の諸問題に実践的に取り組み、周囲の人々と協働しながら問題の解決を図ろうとする人

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法： https://www.iwate-u.ac.jp/about/iwateuniv/organization.html

①教育研究上の目的、卒業又は修了の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 教育学部
教育研究上の目的（公表方法： https://www.iwate-u.ac.jp/about/disclosure/education.html ）
（概要） 教員養成の専門学部として、教育に関する理論的・実践的な力量、教育内容とその背景をなす諸学問の理解及び豊かな人間性・社会性を備え、地域の要請に応えつつ、教員としての意欲と高い使命感をもって教育に取り組むことができる教員の養成を目的とする。
卒業又は修了の認定に関する方針（公表方法： https://www.iwate-u.ac.jp/about/policy/diploma.html ）
（概要） コース毎に、（知識・理解）、（思考・判断）、（技能・表現）、（関心・意欲）、（態度）の5項目の能力について定め、修得した者に学位を授与している。
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法： https://www.iwate-u.ac.jp/about/policy/curriculum.html ）
（概要） 学士課程を修めた知識人として幅広い教養と豊かな人間性を養うことを目的とし、幅広い分野について単位修得ができるように教養教育科目を配置し、専門教育科目は5つの科目に区分して編成し、充実した教員養成を行うため多様な科目を用意している。
入学者の受入れに関する方針（公表方法： https://www.iwate-u.ac.jp/admission/general/policy.html ）
（概要） <ul style="list-style-type: none"> ・幅広い教養教育と教員になるための専門教育に主体的に取り組む基礎となる知識・技能を有する人 ・知識を活用し論理的に思考・判断する資質・能力を有する人 ・多面的な考え方や協調性を尊重するとともに、自分の考えを表現できるコミュニケーション能力を有する人 ・学校教育に関わる種々の問題に関心を持ち、教員として社会に貢献する強い意欲を有する人 ・豊かな人間性と子どもに対する深い愛情を有する人 ・生涯学び続ける態度を有する人 ・様々な課題に対し主体的に取り組むとともに、周囲の人々と協働して解決しようとする姿勢を有する人

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法： https://www.iwate-u.ac.jp/about/iwateuniv/organization.html

①教育研究上の目的、卒業又は修了の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 理工学部
教育研究上の目的（公表方法： https://www.iwate-u.ac.jp/about/disclosure/education.html ）
<p>（概要）</p> <p>幅広い教養と豊かな人間性を基礎として理工学分野における基礎学力と専門的な知識と技術を有し、自然科学の様々な現象を根源的かつ包括的に捉えながら人間社会と自然環境の共生を図りつつ理工学分野の多様な課題の解決に取り組むことを通して地域社会と国際社会の持続的発展に貢献できる人材の養成を目的とする。</p>
卒業又は修了の認定に関する方針（公表方法： https://www.iwate-u.ac.jp/about/policy/diploma.html ）
<p>（概要）</p> <p>各学科のコース毎に、（知識・理解）、（思考・判断）、（技能・表現）、（関心・意欲・態度）の4項目の能力について定め、修得した者に学位を授与している。</p>
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法： https://www.iwate-u.ac.jp/about/policy/curriculum.html ）
<p>（概要）</p> <p>コース毎に、学位授与の方針を実現するために編成・実施している。</p>
入学者の受入れに関する方針（公表方法： https://www.iwate-u.ac.jp/admission/general/policy.html ）
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高等学校卒業にふさわしい一般基礎学力を修得しているとともに、より広い教養と深い専門性を身に付けたいという意欲を持つ人 ・理工学分野の専門の学修を始めるのに必要な知識と技能を獲得している人 ・修得した知識と技能を組み合わせ、論理的な思考に基づく適切な判断ができるとともに、それを適切に他者に表現することができる人 ・自らが選択する専門分野の学修に、主体的に取り組もうとする人 ・大学での学びのなかで、広く社会との関わりに関心を持ち、積極的に多様な人々と協働しようとする人

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法： https://www.iwate-u.ac.jp/about/iwateuniv/organization.html

①教育研究上の目的、卒業又は修了の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 農学部
教育研究上の目的（公表方法： https://www.iwate-u.ac.jp/about/disclosure/education.html ）
<p>（概要）</p> <p>農学分野において基盤を成す「食料」「生命」「環境」の3つの領域に関する教育に加えこれら3つの領域を俯瞰しそれらを複合するための「農学の総合知」に関する教育の実践により、自身の専門分野に関して農学全体からの視点を持ち、身につけた知識・技術を他の分野に広く展開できる能力を持った次世代の農学人材の育成を目的とする。</p>
卒業又は修了の認定に関する方針（公表方法： https://www.iwate-u.ac.jp/about/policy/diploma.html ）
<p>（概要）</p> <p>学科又はコースごとに、（知識・理解）、（思考・判断）、（関心・意欲）、（態度）、（技能・表現）の5項目の能力について定め、修得した者に学位を授与している。</p>
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法： https://www.iwate-u.ac.jp/about/policy/curriculum.html ）
<p>（概要）</p> <p>学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に基づき、「食料」「生命」「環境」の各分野で幅広い教養と基礎学力を養うために、学科ごとに、教養教育科目、学部専門基礎科目、学部共通科目、学科共通科目及びコース専門教育科目で構成される系統的な教育課程を編成している。</p>
入学者の受入れに関する方針（公表方法： https://www.iwate-u.ac.jp/admission/general/policy.html ）
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農学の基盤である「食料」「生命」「環境」分野を学ぶに相応しい基礎学力を有する人 ・農学分野に関する諸問題を全体的な視点から見出し、論理的にとらえ、探求する思考力と自らの意見をまとめ表現する能力を有する人 ・学びで得た知識や経験、理論や技術を、明確な目的をもって農学および現実社会の諸課題の解決に生かす意欲のある人 ・農学分野に関する諸課題を主体的に学ぶ積極性を持つとともに、創造性豊かな発想をもとに協働して学ぶことのできる人

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法： https://www.iwate-u.ac.jp/about/iwateuniv/organization.html

①教育研究上の目的、卒業又は修了の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 獣医学部
教育研究上の目的（公表方法： https://www.iwate-u.ac.jp/about/disclosure/education.html ）
（概要） 人類と動物の健康と福祉に貢献することを基本理念とし、地域の要請に応えることが可能な国際通用性のある獣医学教育を実現し、産業動物及び伴侶動物獣医学、家畜衛生などの獣医に関する諸課題に対応可能な人材の育成を目的とする。
卒業又は修了の認定に関する方針（公表方法： https://www.iwate-u.ac.jp/about/policy/diploma.html ）
（概要） （知識・理解）、（思考・判断）、（関心・意欲）、（態度）、（技能・表現）の5項目の能力について定め、修得した者に学位を授与している。
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法： https://www.iwate-u.ac.jp/about/policy/curriculum.html ）
（概要） 獣医学教育モデル・コア・カリキュラムに基づいた教育課程を実施することに加え、人類と動物の健康と福祉に貢献するという理念に基づき、高度獣医療の提供、人類の健康と食の安全、並びに生命科学研究の発展に活躍できる国際的な視野を持つ人材を育成することを目的として、カリキュラムを編成している。
入学者の受入れに関する方針（公表方法： https://www.iwate-u.ac.jp/admission/general/policy.html ）
（概要） ・獣医学を学ぶに相応しい基礎学力を有する人 ・動物の生命現象と病態に関する課題を探求し、グローバルな視野から論理的に解決する思考力を有する人 ・動物の生命現象と病態に関心を持ち、それを継続して探求しようとする意欲のある人 ・自己を啓発し実行力に優れ、獣医学の発展ならびに社会に貢献しようとする意欲のある人 ・獣医師として、国際的な交流・協力を推進し、世界に学び世界に貢献しようとする意欲のある人

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：<https://www.iwate-u.ac.jp/about/iwateuniv/organization.html>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	9人	—					9人
人文社会科学部	—	31人	21人	4人	0人	0人	56人
教育学部	—	26人	33人	4人	0人	0人	63人
理工学部	—	49人	39人	0人	21人	0人	109人
農学部	—	36人	28人	2人	11人	0人	77人
獣医学部	—	12人	11人	0人	11人	0人	34人
大学院	—	8人	0人	0人	0人	0人	8人
その他	—	12人	12人	2人	3人	0人	29人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長			学長・副学長以外の教員				計
0人			345人				345人
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)		公表方法： http://univdb.iwate-u.ac.jp					
c. F D（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							
<ul style="list-style-type: none"> ・全教員を対象に、F D研修会を行っている。 ・学部等においても、学部内のF D組織が年間数回のF D研修会を計画し実施している。 							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
人文社会科学部	200人	213人	106.5%	820人	898人	109.5%	10人	14人
教育学部	160人	174人	108.8%	640人	698人	109.1%	-人	-人
理工学部	414人	452人	109.2%	1,774人	1,924人	108.5%	20人	13人
農学部	226人	231人	102.2%	986人	1,065人	108.0%	5人	3人
獣医学部	30人	34人	113.3%	30人	34人	113.3%	-人	-人
合計	1,030人	1,104人	107.2%	4,250人	4,619人	108.7%	35人	30人
(備考) 令和7年度入学生数で令和7年5月1日現在の数。								

b. 卒業者数・修了者数、進学者数、就職者数

学部等名	卒業・修了・進学・就職			
	卒業者数・修了者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
人文社会科学部	207人 (100%)	9人 (4.3%)	178人 (86.0%)	20人 (9.7%)
教育学部	168人 (100%)	12人 (7.1%)	142人 (84.5%)	14人 (8.3%)
理工学部	408人 (100%)	242人 (59.3%)	147人 (36.0%)	19人 (4.7%)
農学部	217人 (100%)	72人 (33.2%)	132人 (60.8%)	13人 (6.0%)
獣医学部	—人 (—%)	—人 (—%)	—人 (—%)	—人 (—%)
合計	1000人 (100%)	335人 (33.5%)	599人 (59.9%)	66人 (6.6%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項) 主な進学先：本学大学院総合科学研究科 主な就職先：官公庁、公立学校、民間企業				
(備考) 令和6年度の情報。獣医学部は令和7年度新設のため該当なし。				

c. 修業年限期間内に卒業又は修了する学生の割合、留年者数、中途退学者数 (任意記載事項)

学部等名	入学者数	修業年限期間内			
		卒業・修了者数	留年者数	中途退学者数	その他
人文社会科学部	217人 (100%)	183人 (84.3%)	26人 (12.0%)	7人 (3.2%)	1人 (0.5%)
教育学部	174人 (100%)	164人 (94.3%)	8人 (4.6%)	1人 (0.6%)	1人 (0.6%)
理工学部	449人 (100%)	370人 (82.4%)	60人 (13.4%)	19人 (4.2%)	0人 (0.0%)
農学部	228人 (100%)	196人 (86.0%)	26人 (11.4%)	6人 (2.6%)	0人 (0.0%)
獣医学部	—人 (—%)	—人 (—%)	—人 (—%)	—人 (—%)	—人 (—%)
合計	1,068人 (100%)	913人 (85.5%)	120人 (11.2%)	33人 (3.1%)	2人 (0.2%)
(備考) 入学者数は、令和7年3月に修業年限で卒業した学生が入学した年度の入学者数。その他は除籍の人数。獣医学部は令和7年度新設のため該当なし。					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

<p>(概要) 【様式第2号の3より再掲】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開講予定の各科目について、前年度3月に「授業の目的」「到達目標」「授業の概要（「授業の内容」に該当）」「授業の形式（「授業の方法」に該当）」「成績評価の方法と基準（「成績評価の方法・基準」に該当）」「詳細計画」等の項目からなる授業計画書（シラバス）を作成し、Web上で公表している。 ・「シラバス作成の手引き」を授業担当者に配付し、授業計画書（シラバス）作成の一助としている。 ・開講科目のシラバス点検を行い、不備がある場合には個別修正依頼をしている。

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

<p>(概要) 【様式第2号の3より再掲】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単位認定に伴う成績評価については、「成績評価ガイドライン」を策定し、これに基づき各科目の成績評価基準や評価方法をシラバスにて明示し、実施している。 				
学部名	学科名	卒業又は修了に必要な となる単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
人文社会科学部	人間文化課程	単位	有	24 単位
	地域政策課程	単位	有	24 単位
教育学部	学校教育教員養成 課程（小学校教育 コース）	137～146 単位	有	24 単位
	学校教育教員養成 課程（中学校教育 コース）	134～143 単位	有	24 単位
	学校教育教員養成 課程（理数教育コ ース）	137～139 単位	有	24 単位
	学校教育教員養成 課程（特別支援教育 コース）	135 単位	有	24 単位
理工学部	理工学科	127 単位	有	24 単位
農学部	食料農学科	126 単位	有	24 単位
	生命科学科	126 単位	有	24 単位
	地域環境科学科	126 単位	有	24 単位
	動物科学・水産科 学科	126 単位	有	24 単位
獣医学部	共同獣医学科	189 単位	有	24 単位
GPAの活用状況（任意記載事項）		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：<https://www.iwate-u.ac.jp/about/disclosure/education.html>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
全学共通		535,800 円	282,000 円	円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
<p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> 学修支援室を設置し、理数系科目を中心に学生の修学支援を行っている。 https://sites.google.com/iwate-u.ac.jp/lsr/index 経済的理由によって納付期限までに入学料の納付が困難な方などに対して、最大で9月末まで入学料の徴収を猶予している。 また、前述とは別に、特別な事情（学資負担者が1年以内に死亡等）を有する方に対する入学料及び授業料免除においては、結果が通知される7月頃まで入学料及び授業料の徴収を猶予し、更に入学料が全額免除とならなかった者に対しては、最大で9月末まで入学料の徴収を猶予することにより、学生の修学の継続に配慮した仕組みを設けている。 https://www.iwate-u.ac.jp/campus/fee/exemption.html
b. 進路選択に係る支援に関する取組
<p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域協創教育課キャリア教育グループにおいて、キャリア相談室を設け、就職やキャリア支援を行っている。 https://www.iwate-u.ac.jp/career/
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
<p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> 保健管理センターを設置し、医師・カウンセラー・保健師が常駐して、心身の健康等に関する支援を行っている。 http://expiwjm.adm.iwate-u.ac.jp/gaku/hoken/index.html

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法： https://www.iwate-u.ac.jp/about/disclosure/education.html

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格 A 4 とする。

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード (13桁)	F103110100731
学校名 (〇〇大学 等)	岩手大学
設置者名 (学校法人〇〇学園 等)	国立大学法人岩手大学

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者数 ※括弧内は多子世帯の学生等（内数） ※家計急変による者を除く。		531人（ ）人	504人（ ）人	-
内訳	第Ⅰ区分	254人	257人	
	(うち多子世帯)	()人	()人	
	第Ⅱ区分	146人	124人	
	(うち多子世帯)	()人	()人	
	第Ⅲ区分	104人	94人	
	(うち多子世帯)	()人	()人	
	第Ⅳ区分(理工農)	0人	0人	
	第Ⅳ区分(多子世帯)	27人	29人	
区分外(多子世帯)	人	人		
家計急変による 支援対象者(年間)				-
合計(年間)				552人()人
(備考)				

※ 本表において、多子世帯とは大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）第4条第2項第1号に掲げる授業料等減免対象者をいい、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分（理工農）とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第2号イ～ニに掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等 短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	人	人
修得単位数が「廃止」の基準に該当 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単 位時間数が廃止の基準に該当)	-	人	人
出席率が「廃止」の基準に該当又は学修意 欲が著しく低い状況	0人	人	人
「警告」の区分に連続して該当 ※「停止」となった場合を除く。	-	人	人
計	15人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、 高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2 年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	人	後半期	人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

(1) 停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	-
年間計	-
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、停止を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
		年間	前半期
GPA等が下位4分の1	27人	人	人

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
		年間	前半期
修得単位数が「警告」の基準に該当 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位数が警告の基準に該当)	0人	人	人
GPA等が下位4分の1	52人	人	人
出席率が「警告」の基準に該当又は学修意欲が低い状況	0人	人	人
計	52人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。